

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務 I Travel Agency Job-Domestic Travel I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(旅行業務取扱管理者試験必修)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小鮎 滋則	講師室	木曜日10時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
国内旅行を計画するにあたって必要な交通機関の運賃・料金や宿泊機関の規則や計算の方法を学びます。また、国家資格である「旅行業務取扱管理者試験」にも対応する授業内容です。				
授業の目標				
運賃や料金の仕組みを学び、旅行の企画立案が出来るようにします。 国家試験にチャレンジできるレベルに達することが出来るようにします。				
授業の方法				
講義が主体となりますが、2週に1回は演習問題にも取り組みます。				
学習の成果(学習成果)				
J R・航空・私鉄などの交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関などの料金の算出方法が身につく、国内旅行商品の基本構造も身につけることができるようになります。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	J R 運賃規則 1			
第3回目	J R 運賃規則 2			
第4回目	J R 運賃規則 3			
第5回目	J R 運賃規則 4			
第6回目	J R 料金計算 1			

第7回目	J R料金計算 2	
第8回目	J R料金計算 3	
第9回目	J Rのまとめと小テスト	
第10回目	国内航空運賃・料金(併せて約款も)	
第11回目	貸切バス運賃・料金(併せて約款も)	
第12回目	フェリー運賃・料金(併せて約款も)	
第13回目	宿泊料金(併せて約款も)	
第14回目	J R, 航空、貸切バス、フェリー、宿泊のまとめ①と試験	
第15回目	J R, 航空、貸切バス、フェリー、宿泊のまとめ②	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	14回目の講義時間にテストを行い、理解度を確認します。 S評価の基準：S = 90 - 100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
2015年版 U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン（ユーキャン学び出版）		
履修上の留意点・ルール		
国家試験を目指す学生はチャレンジ精神旺盛であることを期待します。		